

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		地域で暮らす人を支える看護実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2～3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担 当 教 員		戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格	医療機関で看護師としての臨床経験と看護基礎教育の経験を有する			
《授業科目における学習内容》							
継続事例の訪問や事業所での実習を通して、地域で生活する人々とその家族の暮らしを理解し、地域包括ケアシステムの中で、看護師の役割と多職種・多機関の連携の実際を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
実習態度、出席状況、学習内容、コミュニケーション、看護技術等により総合的に判断する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
地域療養を支えるケア(メディカ出版) 在宅療養を支える技術(メディカ出版) 国民衛生の動向(財団法人厚生統計協会) みんないさいき介護保険(社会保険出版社)							
《授業外における学習方法》							
1) 事前学習に取り組む 2) 実習オリエンテーションを行う ①実習ガイド説明 ②実習要項・目標達成シート ③実習方法 ④実習マナー ⑤カンファレンス ⑥実習に必要な物品 等 3) 直前オリエンテーションを行う							
《履修に当たっての留意点》							
健康管理に留意し、実習に臨む。 訪問時の身だしなみやマナー、時間管理、個人情報の取り扱いについて十分留意する。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	訪問看護の対象者、働く職種、訪問看護に必要な記録物を理解する		テキスト・参考書	事前に実習要項を読み、ビジョンコールを提出する。 在宅看護に関する事前学習を行う。	
		各コマにおける授業予定	訪問看護ステーションからオリエンテーションを受ける。 継続事例の療養者の情報を得る				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅で生活する療養者の生活環境や訪問看護の方法を理解する		テキスト・参考書	訪問看護指示書、訪問看護計画書、訪問看護報告書、居宅サービス計画書等の情報を整理する	
		各コマにおける授業予定	継続事例の訪問に同行し、療養環境や訪問看護の実際を見学する				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅で生活する療養者の生活環境や訪問看護の方法を理解する		テキスト・参考書	事前に訪問看護計画を立案し、指導者から助言を受ける。	
		各コマにおける授業予定	継続事例の訪問に同行し、療養環境や訪問看護の実際を見学する				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の状況と生活を支える社会資源が整理できる		テキスト・参考書	全体像を作成し、指導や助言を受けることができるよう準備しておく	
		各コマにおける授業予定	継続事例の全体像を作成し、カンファレンスを通して在宅療養者の長期目標や支援のあり方を考える				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅における看護技術の方法を知り、指導者のもとで援助を実施する		テキスト・参考書	体験できる看護技術を確認し、事前に演習を行う	
		各コマにおける授業予定	訪問看護師に同行し、指導者のもとに援助を実施する。療養者とその家族とコミュニケーションを図る				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 多職種・多機関との連携や調整を理解する	テキスト・参考書	退院時カンファレンスの目的や参加者、サービス担当者会議の目的や参加者について事前学習する
	各コマにおける授業予定	退院時カンファレンスやサービス担当者会議等への参加、医療職者・介護職者との同行訪問を見学する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 地域における訪問看護の機能と役割について理解を深めることができる	テキスト・参考書	インタビューの方法や内容について事前に指導者より助言をうける
	各コマにおける授業予定	療養者とその家族から生活状況や療養への思いを聴くことやカンファレンスを通して訪問看護の役割を整理する		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 地域で生活する人々とその家族を支援するための多職種・多機関連携を学ぶ	テキスト・参考書	実習する機関や事業所の機能と役割について事前に調べておく
	各コマにおける授業予定	退院支援や退院調整、ケアマネジメント、自助・互助について学ぶために、地域包括支援センター、地域連携室、居宅介護支援事業所の実習を行う		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標 地域で生活する人々とその家族を支援するための多職種・多機関連携を学ぶ	テキスト・参考書	実習する機関や事業所の機能と役割について事前に調べておく
	各コマにおける授業予定	退院支援や退院調整、ケアマネジメント、自助・互助について学ぶために、地域包括支援センター、地域連携室、居宅介護支援事業所の実習を行う		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標 地域で生活する人々とその家族を支援するための看護師の役割を学ぶ	テキスト・参考書	学内で行うカンファレンスで看護師の役割を発表できるように全体像の修理・追加しておく
	各コマにおける授業予定	実習全体を振り返る。具体的な自己の行動と対象者の反応をもとに、できたこと、できなかったことを確認する。		